

報徳園だより

〒514-0065 三重県津市河辺町 1317-1
TEL:059-228-1951 FAX:059-228-1952 <http://www.houtokuen.jp/>

題字 理事長 常磐井猷磨

感謝

園長 千草篤磨

1月に「報徳園だより」創刊号を発行して以来、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で、社会福祉の現場は医療分野と同様に困難な状況が続いています。マスク、手袋、ゴーグル、消毒液等の衛生用品の確保。入所者、利用者、職員の健康管理の徹底。大勢の入所者が集まる園内行事の中止や規模の縮小。外出や面会、ボランティア活動の自粛や中止等々。

その様な中で、本園職員の感染が確認され、また退院後に再陽性となるなど、関係者、関係機関には大変お世話になり、またご迷惑をおかけしました。幸い、他の入所者、職員への感染も確認されず、徐々に面会も再開されて、漸く日常の園生活が戻りつつあるところです。これも職員一同の努力と皆様方のご支援、ご協力の賜と感謝しております。

この間、施設や職員への誹謗中傷、無理解による過度の不安や恐怖を煽る言動などに苦慮し

てきましたが、一方で温かい励ましや共感の言葉を頂きましたことは、大変ありがたく、心から感謝申し上げる次第です。三重県、津市、三重県社会福祉協議会、三重県老人福祉施設協会、津市老人福祉施設協会、三重県介護福祉士会、三重県日中友好協会、NPO法人中日交流誌をはじめ、各団体や個人の方からマスクや消毒液などの提供がありました。高田高校仏青インターアクトクラブからは、高校生が休校中に自宅で作製した布マスクが届けられました。また、入所者ご家族から職員への励ましの品が差し入れられたり、数名の方から新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金を、施設での感染予防に役立てて欲しいと寄付して頂いたり、温かい気持ちに触れる機会にも恵まれました。

多くの人々の真心に対し、この場で改めて感謝申し上げます。



▲三重県日中友好協会・舟橋裕幸会長よりアルコール消毒噴霧器の寄贈

▶
高田高校仏青インターアクトクラブ顧問・藤田正知先生より手作りマスクの寄贈



▶
中日交流誌・小村雪花副編集長よりマスクの寄贈



▲高田高校の生徒が作製したメッセージ入りのマスク

入所者のみなさんの生活は、 心身の状況に応じて4つのゾーンに分かれています。

1丁目

報徳園にはさまざまな植物があり、施設で過ごしていても一年の変化を感じてもらうことができます。1丁目にある「みどりの広場」前の庭には藤棚があり、5月には30センチ程に垂れた紫色の花を咲かせていました。庭の通路から見上げて観賞することのほかに、広場で藤の花を見ながら食事を楽しむこともできます。現在は藤の花も散り、来シーズンまで待つこととなりますが、季節感のある施設生活の充実を図っていききたいと思います。



2丁目

「皆さんおはようございます」日直の朝の挨拶と、ニワトリの鳴き声で2丁目の一日が始まります。2丁目の最高齢者の101歳の方から78歳の方まで平均年齢にすると90歳、30名程の利用者と共に日々生活をしています。今は七夕に向けて昔の話などしながら、飾りつけや短冊に「可愛い服が欲しい」などの願い事を書いて季節行事を楽しんでいます。話が出来ない方もみえますが、利用者の方々が安全に笑顔のあふれる温かい2丁目を目指しています。



3丁目

3丁目恒例の壁画作り。6月は雨のしずくの下、静かに咲く紫陽花を作りました。紙巻棒で作った三重の塔も合わさり、古都京都を思わす風景に仕上がりました。

又6月の誕生会は3丁目担当の「あじさい杯ボーリング大会」でした。利用者さん達皆さんで色とりどりのきれいな看板を作って下さいました。さて結果は???

新型コロナウイルス感染症の為自粛生活の中、ほんのひと時ですが皆さんの笑顔が見られました。7月朝顔、8月向日葵と3丁目は花盛りですよ。乞うご期待!



4丁目

4丁目では、利用者さんと一緒に中庭でミニトマトを育てています。夕方の水やりが毎日の日課になっています。じょうろを持って水をやりながら「実がなってきたね」「楽しみだね。早く赤くならないかな」と、皆優しい表情です。昔取った杵柄で、野菜や花の育て方を職員に教えてくださる方もいらっしゃいます。4丁目には、認知症の方が多くみえますが、職員が利用者さんから教えていただくことが毎日たくさんあります。



デイサービスセンター報徳園（認知症対応型通所介護）

デイサービスでは、新型コロナウイルス感染予防の対策を取りながらも、心身機能の維持の為に、利用者さんには今まで通りの日課でお過ごし頂いています。午後からのレクリエーションでは"遊び"を基本にしながら、自然に笑顔になれるよう職員が毎日、工夫を凝らしています。毎月発行しているデイサービスだよりで「レクいろいろ」と題して掲載していますので、報徳園のホームページもご覧ください。



在宅介護支援センターの業務 🏠🏡🏢🏣🏤🏥🏦🏧🏨🏩🏪🏫🏬🏭🏮

在宅介護支援センターの職員として、「相談者の話を丁寧に聴く」事を心掛けています。自宅で高齢者の方を介護されている御家族は、皆さんが『これからどうなるのか?』『どうしていいか解らない』といった生活に対する悩みや不安を抱えています。誰にも相談できない状況が続くと、一人で介護を抱え込みがちになります。先の見えない不安の中で、毎日を過ごされている御家族の心に寄り添う、伴走者のような存在で在りたいと思います。

これからも真摯に業務に取り組んでいきます。





入所者インタビュー

齋藤 和子 さん (85 才)

①報徳園に入所したきっかけは？

夫が亡くなってから一人暮らしでした。洗濯を干している時にこけて、ケガをして、入院しました。家で生活することを心配してくれたケアマネジャーさんに勧められて来ました。

②ここでの生活はいかがですか？

嬉しい。美味しいご飯をきちっとしてくれて嬉しいです。職員さんは色々な人を相手しているのに、何も言わずに上手に機嫌を取ってやっている。夜も寝ずに一生懸命しているなど感心しています。子供のころから本が好きで、この本も全部読みました。毎日朝晩お経を唱えて、園のお参りも行かせてもらっています。音楽が好きなので、CDをもっと買いたいです。



家族インタビュー

田中 美津子 さん
(入所者 伊藤 ツルエ さん 94 才)

①入所当初のご家族の思いはいかがでしたか？

13年前に両親共に介護が必要になり、母を報徳園にお願いしました。当初はリハビリなどもなく、物足りなさを感じたこともありましたが、しかし、自分もヘルパー資格を取り、短期間ですが、介護の仕事をするようになって、現場の大変さを実感しました。

②現在のご家族の思いはいかがですか？

母が数年前に病院に入院した時、医師からこれ以上治療はできないとまで言われたのですが、報徳園の生活に戻ると、どんどん元気になって来て驚いています。今、コミュニケーションは難しいですが、食事の時間に来て一緒に居ると、食事内容の話題ができ、一方的ですが話しかけるようにしています。

③報徳園の環境や職員の印象はいかがですか？

最近の施設は2階建てや3階建てが多いですが、報徳園は平屋建てであるところが良いと思います。職員もいろいろな人がいて、それぞれ良い人たちばかりだと思います。祖母は104歳まで長生きしました。長生きの家系の様なので、よろしくお願いします。

地域のみなさんへのインタビュー

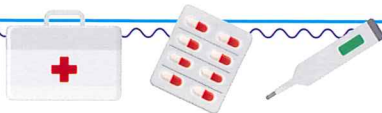


元民生児童委員・入所検討委員 笹山 俊一 さん

私は、定年退職後、三重短期大学の法経科Ⅱ部（社会人クラス）で、福祉や地域について学びました。その後、津西地区の役員など様々なボランティア活動を行いながら、民生委員活動を15年間続けてきました。そこから思うことは、この報徳園は地域に根付いた施設だということです。建物は温かみとゆったり感があり、各ゾーンもそれぞれ個性がある。そこで働く職員さんも笑顔と個性がある。画一的でないところが良いと感じています。

一方、地域から見ると、施設の中の事が今ひとつ分からない。地域の人に施設を知ってもらうために、例えば、園のイベントをもっとPRして、車いす介助などのボランティアを募り、一緒に汗を流すことで、本当の意味の交流ができるのではないのでしょうか。

医務室より



いよいよ夏本番になり温度も湿度も高くなってきました。今年は、新型コロナウイルスの感染に対する「新しい生活様式」でマスク着用が求められる中、感染を防ぐためとはいえ、着用は熱中症のリスクを高めかねません。厚生労働省と環境省は、「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントを発表しました。①マスク着用時は適宜マスクを外す。強い負荷のかかる作業や運動は避ける。②エアコンの使用は、熱中症予防には有効。感染予防の為、室内では窓の開放や換気扇で換気を行なう。③少しでも体調に異変を感じたら、涼しい場所に移動。無理せず静養する。④日頃の健康管理（毎朝、定時の体温測定、健康チェックをする）。⑤適度な運動で予防。

報徳園でも、手洗い、うがい、咳エチケット、マスク着用、換気、こまめな水分補給等、自身の体調管理にも注意しています。それに伴い、医務室でも手作りのマスクが秘かにブームになり、手縫いをする人、ミシンでする人等、生地も表は白ですが、内側はガーゼや様々な模様で作り、夏に向け、感染予防もでき、涼しいマスクを試行錯誤しながら楽しく作っています。今年の夏を元気に乗り切っていきたいと思います。



給食業務より



今年も蒸し暑い時期になりました。気温・湿度が上がると細菌が繁殖しやすくなり、食中毒のリスクが高まります。調理前やトイレの後などの2回手洗いの徹底、中心温度75℃1分間以上加熱の確認、適切な食材保管などの徹底した食中毒対策をいつも以上に気を付けて調理を行っています。食中毒予防の3原則「つけない・増やさない・やっつける」を改めて調理員全員で意識し、予防に努めています。

また暑さによる食欲減退を防ぐため、利用者に好まれる食事の提供を心がけています。6月の誕生会は豆ご飯、揚げ鶏のねぎだれかけ、旬野菜炊き合わせ、手作り胡麻豆腐、ほうれん草の菊花和え、あじさいミルクゼリーでした。旬の食材を使い、見た目もよく仕上げました。揚げ鶏はねぎだれのしっかりした味で召し上がっていただけるようにしました。デザートのアジサイミルクゼリーはかき氷のシロップを使い、あじさいに見立てて手作りしました。利用者にも綺麗だと喜んでいただきました。父の日には園で採れた梅で作った梅シロップでゼリーを作りました。さっぱりとして梅雨の季節にぴったりに仕上がりました。

これからも毎日の楽しみである食事を喜んでもらえるよう、季節感を意識した献立作りに取り組んでいきたいと思っています。



新任職員研修

新任職員の園内研修として、4月7日から施設長による「施設理念」を始めに、「就業規則」、「職員マナー」、「事故防止・身体拘束」、「感染症」、「ケアプラン」、「介護保険」、「認知症」、「看取りケア」、「介護技術」の10項目について行いました。社会人としての基本から高齢者施設で働くために必要不可欠な事象を中心に、基礎知識や実践方法などを学びました。



新任職員紹介 ~令和2年度、新人職員3名の自己紹介です~



谷 鷹宗 (介護士)

今年、報徳園に就職しました谷と申します。介護福祉の分野では経験が浅く、特別養護老人ホームのような大きな施設での勤務は初めてとなります。

また、今までフリーター歴が長かったという事もあり、新卒採用の職員よりフレッシュさでは負けますが、頑張りますので宜しくお願い致します。趣味は釣り、ドライブ、ショッピング等です。



森 すもも (介護士)

私は約10年間、飲食店で働いていました。高齢なお客様の多いお店で、毎日のように会いに来ては楽しそうに笑いながら話をして帰っていく方がたくさんいました。そんな方々の姿をみているうちに、いつか正職員として働くなら介護の仕事がしたいと思うようになりました。

報徳園に就職して数か月経ちましたが、利用者さんと接する度にこの仕事を選んで良かったなと思います。利用者さんと素敵な関係が作れるように、これからも一生懸命頑張っていきたいと思っています。



大田 雪那 (管理栄養士)

5月から報徳園で勤務している管理栄養士の大田です。報徳園の厨房では、厨房職員一人一人が日々工夫を凝らして利用者さんに美味しい食事を届けられるよう調理を行っていると感じました。これからそんな厨房職員の一員として、食事と栄養の面から利用者さんのサポートをしていきたいと考えておりますので宜しくお願いします。



「因」と「縁」が大事

武田 英機師（真宗高田派慈相寺住職）

日本に伝来している「お経」は7000余巻有ると言われている。これはお釈迦様のお話は「応病与薬」といって多くの人々の悩み事などに対しお話になった事柄を文章化したものがお経になっていますから、これでも少ない方だと思います。このお経を5回も繰り返し読んでお釈迦様が本当におっしゃりたいことは何であったのかを調べた上人様がいらっしやいました。それによると、どのお経にも根底にあるのは「因果の道理」を説いておられるのだそうです。たしかに繰り返し「善因善果、悪因悪果」と教えています。良いことをすれば良い結果がえられ、悪いことをすると悪い結果になる。釈迦はそう教えています。

「汝ら過去の因を知らんと欲すれば、現在の果を見よ。未来の果を知らんと欲すれば、現在の因を見よ」だから因果応報が仏教の教えであることに間違いありません。

けれど、因果応報は初歩的な教えであって、仏教に於いては「因」よりも重要なこととして、一縁一を説くのです。即ち、「因」は

「縁」が整ったとき、はじめて「果」を結ぶというのが仏教思想であります。

では、因と縁はどう違うか？「因」は・・・直接原因、「縁」は・・・間接条件、です。

「因」というのは、植物の種子だと思って下さい。芽が出るには種が必要です。では、種があれば必ず発芽するかといえば、机の上では種は発芽しません。それを土に蒔き、水をやり、温度が高くなると発芽しない。つまり、種（因）はそのような間接条件（縁）が満たされたとき、はじめて発芽するのです。従って、仏教の正しい考え方は、「因果応報」でなく、「因縁生起」であります。「因」だけではなしに「因縁」によって物事は生じたり起きたりします。この因縁生起を略して、「縁起」というのです。これは、「因」よりも「縁」を重視するから、そのように省略するのです。

たとえば、我々の日常生活において、物事がうまくいったとき、その成功の原因は自分の努力だと考えてしまう。それで間違いではありませんが、それは「因」だけを見ているのです。成功の背後には様々な「縁」、つまり大勢の人々の協力があったからこそ成功することが出来たということを忘れてはならない。仏教ではそれを強調しているのです。

池村ゆきさん 100歳お祝い

令和2年2月20日、集会室にて息子さん夫婦やお孫さんたちも来園され、100歳祝いを行いました。大正9年2月15日生まれの100歳です。2月の誕生会を兼ねて行い、生まれ年である大正9年に起こった出来事（日立製作所設立やメーデーの始まり等々）の紹介、園長の挨拶、祝杯交換、3丁目職員による催し物へと進みました。ゆきさんがカラオケ好きだったとの事で、職員が北島三郎や美空ひばりに扮して歌を歌い、会場は盛り上がりました。3丁目利用者からのお祝いの言葉、家族からの言葉で終了となり、ゆきさんも皆からお祝いをしてもらい喜んでいました。



ギャラリー

集会所（仏間）前の廊下の壁は絵画や写真のギャラリーとして、入所者や来園者の和みと癒しの空間となっています。月単位で10作品ほどを入れ替え展示しています。今回は入所者の飯久保俊夫さんの絵画と、慈相寺住職の武田英機さんの写真を紹介します。



「小樽」(2012.10月) 飯久保俊夫さん



「報徳園の春」(2020.4月) 武田英機さん

表彰



三重県教育委員会より特別感謝状

長年、中学生や高校生等の職場体験の受け入れに取り組んできたことに対し、2月18日に三重県文化会館において、三重県教育委員会の広田教育長より特別感謝状の表彰がありました。



令和元年度 決算報告

事業活動計算書(要旨)

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

法人名: 社会福祉法人高田真善会		決算額
勘定科目		
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	608,180,416
	経常経費寄附金収益	3,570,360
	その他の収益	0
	サービス活動収益計(1)	611,750,776
	費用	
	人件費	465,803,006
	事業費	101,374,319
	事務費	39,571,017
	利用者負担軽減額	0
サービス活動外増減の部	減価償却費	27,383,810
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,030,276
	サービス活動費用計(2)	627,101,876
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 15,351,100
	借入金利息補助金収益	0
	受取利息当金収益	18,672
	その他のサービス活動外収益	7,889,287
	サービス活動外収益計(4)	7,907,959
	支払利息	0
	その他のサービス活動外費用	5,586,450
特別増減の部	施設整備等補助金収益	0
	施設整備等寄附金収益	0
	特別収益計(8)	0
	基本金繰入額	0
	固定資産売却損・処分損	10
	特別費用計(9)	10
	特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 10
	当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 13,029,601

貸借対照表(要旨)

令和2年3月31日現在

法人名: 社会福祉法人高田真善会		(単位: 円)	
資産の部		負債の部	
勘定科目	年度末	勘定科目	年度末
流動資産	335,270,661	流動負債	43,712,284
現金預金	247,192,903	事業未払金	20,579,993
事業未収金	87,616,982	職員預り金	1,871,846
前払費用	460,776	賞与引当金	21,260,445
固定資産	597,632,662	固定負債	47,926,892
基本財産	427,595,163	退職給付引当金	47,926,892
土地	196,588,016		
建物	231,007,147		
その他の固定資産	170,037,499	負債の部合計	91,639,176
土地	74,745,000	純資産の部	
建物	17,044,607	基本金	680,558,876
構築物	7,130,448	国庫補助金等特別積立金	72,313,366
機械及び装置	0	次期繰越活動収支差額	88,391,905
車両運搬具	2,204,061	(当期繰越活動収支差額)	△ 13,029,601
器具及び備品	20,525,715		
退職給付引当資産	47,926,892		
長期前払費用	460,776		
資産の部合計	932,903,323	純資産の部合計	841,264,147
		負債及び純資産の部合計	932,903,323

※決算書類等は膨大なため、報徳園事務所に閲覧ができますので、担当職員まで申し出てください。

お知らせ

新型コロナウイルスによって今年も祇園会の花火や盆踊りなどの行事が中止となりました。

4月には利用者の方々の近況の手紙と写真を送らせて頂きましたが、6月中旬には再度面会を中止させて頂くこととなり、ご家族にはご心配をお掛けしました。

このような時期だからこそ利用者の方々には明るく楽しく施設生活を送って頂けるよう努めていきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。



編集後記

日本だけではなく、全世界がコロナ禍での生活を送る中、こうして報徳園だよりを発行できたこと、ご協力頂きました方々に感謝いたします。ソーシャルディスタンスで、人と人の距離を取らざるをえない状況ですが、皆様との心の距離は近くにありたいと思っております。